

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスえ〜る		
○保護者評価実施期間	2025年12月 6日		2025年12 月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名(23家族)	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年12 月24 日		2026年 1月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学1年生から高校2年生まで、幅広い年齢の子どもたちが利用している。また、学校も5カ所から利用している。いろんな考え方や習慣のある子どもたちに出会える。	曜日ごとにグループを構成して、発達断簡に応じたプログラムを立てるようにしている。	小学校に入学したばかりで、保育園の時の気持ちから抜け出せない子どもと、中学校や高校を卒業して社会に出て行こうとする子供たちとは、課題に開きがあるので、夫々の目的、目標をはっきりさせてプログラムを作成する。 縦割りと横割りのグループの良さを生かした活動を考える。
2	敷地が広く、畑作業や外遊びをたっぷりできる。	畑を農作業と遊びスペースに分け、安全面に配慮している。食育としても野菜作りに力を入れている。	将来的に木登りができるようにボンタンの樹を植栽してある。自分たちで活動を上げられるように遊具などを整備したい
3	阿久根市の公的施設は電気代以外の使用量が無料なので、活動に合わせて使わせてもらっている。	活動によって施設を使い分けている。その都度申請し、使用後には掃除をするなど、感謝を込めて使わせてもらっている。	公共交通機関を利用して周辺の地域に活動を広げたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちが成長すると共に施設を狭く感じるが増えた。	室内でも運動遊びが多く、スペースが足りなく感じる事が多い。	運動遊びは極力外でしたり、公的施設を借りてするようにしている。
2	外遊びが多い分、安全の面から子どもたちの活動を制御してしまうことがある。	畑を活用しているため、土地が崩れやすくでこぼこしてくる。	毎年、予算を立てて修繕している。 年間安全計画をたて、毎日リーダーが敷地内を見て回っている。 身体面に障害を持つ児童生徒に対する環境の整備の在り方が課題である。
3	運動面の評価が不十分のため、活動の設定が同じになりがちである。	職員の知識不足。	研修計画をたてて、積極的に履修できるように業務内容も整理する。 日頃の業務を通してお互いに学べるように工夫する。